

学校番号	2002
------	------

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	新編 現代の国語 (数研出版)						
副教材等	意味から学び 意味の力を考える 漢字と語彙 ビッグマスター2700 (尚文出版) 改訂版 学習のポイントが見えるよむナビ 現代文1基礎編(いっぴな書店) ビジュアルカラー国語便覧改訂版(大修館書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・授業ではしっかりと説明を聞くようにところがけ、自分事としてよく考えてください。単元ごとに示すポイントに沿って本文を読むようにすれば、心配はありません。 ・授業で扱った内容が理解できたかどうかは各単元で課される「感想」や「意見」の記述内容、定期考査等で判断します。また、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える際の積極性等も評価に入ります。分からないことは気軽に質問してください。

2 学習の到達目標

<p>社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や物事を想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書き手の意図をつかむ ----- [教材] 目指す世界の地図を作る	a:話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	定期 考查 ワーク シート	定期 考查 ワーク シート ノート	ノート 行動 観察
	文章の展開を把握する ----- [教材] 時間とは何か	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の考えを粘り強く理解し、適切な表現を用いて、学習課題に沿って論理的にまとめようとしている。	定期 考查 ワーク シート	定期 考查 ワーク シート ノート	ノート 行動 観察
	対比を読み取る① ----- [教材] 水の東西	a:個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期 考查 ワーク シート	定期 考查 ワーク シート ノート	ノート 行動 観察
	対比を読み取る② ----- [教材] 里山物語	a:比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の主張を粘り強く読み解いて自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期 考查 ワーク シート	定期 考查 ワーク シート ノート	ノート 行動 観察
	事実と考えを区別する ----- [教材] 写真を文章で説明する	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[書]:「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:課題資料が示す内容を積極的に読み取り、読み手に伝わりやすい表現を工夫して、学習課題に沿って説明しようとしている。	定期 考查 ワーク シート	定期 考查 ワーク シート	ノート 行動 観察

※令和4年度以降入学生用

二学期	言葉の働きをとらえる①	a: 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c: 筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期 考查 ワークシート	定期 考查 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 語感トレーニング				
	言葉の働きをとらえる②	a: 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]: 「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c: 筆者の意見や【例】を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期 考查 ワークシート	定期 考查 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] コインは円形か				
	相手の考えを比較する	a: 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c: 粘り強く筆者の意見を理解し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期 考查 ワークシート	定期 考查 ワークシート ノート	ノート 行動観察
[教材] 科学と非科学					
根拠を読み取る①	a: 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c: 筆者の意見を踏まえて積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	定期 考查 ワークシート	定期 考查 ワークシート ノート	ノート 行動観察	
[教材] 「差」という情報					
文章を読み解き、伝える		定期 考查 ワークシート	定期 考查 ワークシート	ノート 行動観察	
[教材] 課題を発見し解決策を発表する (SDGs解説文)	a: 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使っている。 b[話/聞]: 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c: 課題2の内容を伝えるために、積極的に形式や表現に工夫を凝らして資料を作成し、学習課題に沿って発表しようとしている。				

※令和4年度以降入学生用

三 学 期	根拠を読み取る②	a:文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って、自分の考えをさらに深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 「わらしべ長者」の経済学				
三 学 期	話し言葉の技術を磨く	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話/聞]:「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c:相手に伝わるスピーチのしかたについて粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に話したり聞いたりしようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察
	[教材] 適切に話す・聞く「スピーチ」				

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話/聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと/聞くこと … (20) 時間
- ・書くこと … (30) 時間
- ・読むこと … (20) 時間

学校番号	2002
------	------

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	新編 言語文化 (数研出版)						
副教材等	改訂版 古典文法 要点整理ノート (数研出版) シンプルスタイルシリーズ古文単語301 (尚文出版) 新編 言語文化 準拠ワーク (尚文出版) ビジュアルカラー国語便覧改訂版 (大修館書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

現代の国語では、「小説」と「古典作品」を学習していきます。「小説」では、近現代の有名な作家が書いたものを中心に、現代の私たちの使っていることば（口語）で書かれた作品を見ていきましょう。「古典作品」では2、3年生で学ぶ古典探求への入門として、仮名文字の成り立ちや古典文法、親しみやすい説話や故事成語を中心に読んでいきたいと思います。

2 学習の到達目標

【知識・技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力・判断力・表現力】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【主体的に学習に取り組む態度】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	語彙力が定着している。 語句を適切に使い、整った文章が作成できる。 古典文法、漢文の句形などを習得している。	「書くこと」 指示語が示すものや、作品の主題を既定の文字数で表記できる。 作品を学んだうえで自らの意見をまとめ、他者と討論できる。 「読むこと」 古語を正しく読めている。 古文・漢文を正しく現代語訳できる。 作品を味わい、感想などを他者と共有できる。	積極的に授業に参加し、板書や質問をノートに書き取っている。 单元ごとに、主題への認識を深めようとしているとともに、他者の読みとの相違点・共通点を把握している。

※令和4年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	古文に親しむ ----- [教材] 児のそら寝(宇治拾遺物語)	a:古文に親しむために成立やかな文字の成り立ちを学ぶ b[読]:作品のおもしろさがどこにあるか、正しく読めている c:積極的に古典作品を味わおうと努力し、自身の体験なども振り返っている	定期 小テスト	定期 定期 定期	ノート 確認
	世の中を見つめる目を養う ----- [教材] 丹波に出雲といふ所あり(徒然草)	a:古典の基本的な文法を習得する b[読]:作品のおもしろさがどこにあるか把握し、登場人物の性格なども正しく掴む c:積極的に古典作品を味わおうと努力し、自身の体験なども振り返っている。	定期 小テスト	定期 定期 定期	ノート 確認
	小説を味わう ----- [教材] とんかつ	a:語句の意味や表現技法を習得し、物語の舞台背景なども正確に把握している b[書]:登場人物の心情を場面ごとに正しく理解し、それに対して自らの意見も乗せて記述できている c:語彙力を高めようと努力するとともに、教材への理解を深めている	定期 小テスト	定期 定期 感想 文	ノート 確認 意味 調べ
2 学期	今も昔も変わらぬ人の心を知る(1) ----- [教材] 芥川(伊勢物語)	a:古典文法を習得するとともに、和歌についての理解も深める b[読]:悲劇的な終わりが持つ余韻を味わい、自身の感想を乗せて作品を語れる c:積極的に古典作品を味わい、現代人と似通った心情などを理解している	定期 小テスト	定期 定期 定期	ノート 確認
	今も昔も変わらぬ人の心を知る(2) ----- [教材] 筒井筒(伊勢物語)	a:古典文法を習得するとともに、和歌についての理解も深める b[読]:昔の男女間での風習を知り、現代にも通じる恋愛観を読み取る c:積極的に古典作品を味わい、現代人と似通った心情などを理解している	定期 小テスト	定期 定期 定期	ノート 確認
	文豪の作品を味わう ----- [教材] 羅生門	a:語句の意味や表現技法を習得し、物語の舞台背景なども正確に把握している b[書]:登場人物の性格および主張や作品のもつ主題、作者からの疑問提示を正確に受け取り、自分なりの答えを導き出す。導いた答えをもとに討論を行う c:語彙力を高めようと努力するとともに、教材への理解を深め、作品と作者についての知識も習得する	定期 小テスト	定期 定期 感想 文	ノート 確認 意味 調べ
3 学期	漢文に親しむ ----- [教材] 訓読のきまり	a:漢文の成り立ちを学び、返り点の法則や句形を学ぶ b[読]:漢文が日本人に与えた影響の大きさについて知り、古文、ひいては現代の口語文に至るまでの流れを学ぶ c:漢文についての基礎的な知識を習得し、積極的に書き下し文、口語訳ができていく	定期 小テスト	定期 定期 定期	ノート 確認

※令和4年度以降入学生用

	故事成語を学ぶ ----- [教材] 助長・漁夫の利	a: 故事成語について代表的なものを学ぶ b[読]: 二千年以上前に残した人の文を 味わい、現代を生きる我々への教訓として も読める深さを知る c: 漢文についての基礎的な知識を習得 し、積極的に書き下し文、口語訳ができて いる	定期考査 小テスト	定期考査	ノート確認
--	-------------------------------------	--	--------------	------	-------

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (0) 時間
- ・書くこと … (10) 時間
- ・読むこと … (60) 時間

学校番号	2002
------	------

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新編 論理国語 (東京書籍)						
副教材等	意味から学ぶ 頻出漢字3000 (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の時には「現代の国語」で評論というジャンルを学びました。2年生では、それをさらに発展させて、より論理的な文章に触れていきます。 ・教科書の本文については、授業の解説をよく聞き、板書したノートを使い、よく復習すること。 ・漢字の小テストを行うので、頻出漢字3000を繰り返し解いて勉強しておくこと。 ・パフォーマンス課題やグループワーク等も行います。わからないところは質問に来るように。

2 学習の到達目標

<p>論理的な思考や文章が書けるようになるためのスキルを身につける。語彙力などの知識中心に伸ばす。しっかりと根拠を持って論証していく力を身につけ、他者に筋道立てて説明できる力を身につけよう。また、接続表現に注意し、段落ごとのつながりも意識し、長文の読解力も伸ばす。たくさんの論理的な文章に触れ、初読である程度の内容を理解できる力を身につけよう。パフォーマンス課題、発表については、学期ごとに作文や本のPOP作成などを指示する。前向きに取り組みましょう。</p>
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的な思考を働かせ、主題をとらえ、自分の意見や考えを文章にまとめ、他者に説明できるようになる。	積極的に授業を受け、予習や復習を怠らず、パフォーマンス課題やグループワークに積極的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	広がる風景	a:対話と会話の違いを考え、概念を使い分け、理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 対話とは何か	b[読]:「読むこと」内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。			
	広がる風景	a:本文で使われている接続表現について、「接続」「根拠」に当たるものを指摘できる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 世界をつくり替えるために	b[書]:「書くこと」「自分の世界をつくり直していく」ために、必要なことを根拠とともに文章にまとめられるようになる。 c:筆者の考え理解し、自分の中の「種」について主体的に考えられている。			
	考える手がかり	a:ことわざや慣用句について、本来の意味を知り、正しく使うことができるようになる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 「ふしぎ」ということ	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて、具体例とそこから導かれる答えを捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の主張を読み解いて自分の考えを深め、「あたりまえ」の世界に、「ふしぎ」に思う視点を持つようとしている。			
二学期	人間と知性	a:話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 学ぶことと人間の知恵	b[書]:「書くこと」において、学習する意義についての筆者なりの答えをまとめる。知恵というキーワードを用いて、本文に沿った解答が書かれているか。 c:課題資料が示す内容を積極的に読み取り、読み手に伝わりやすい表現を工夫して、学習課題に沿って説明しようとしている。			
	現実の中で	a:本文に使われている語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨きいている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 思考の肺活量	b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:筆者の意見を踏まえて具体的な事例を積極的に考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。			
現実の中で	a:「安心」という言葉の持つ、様々な側面を理解している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察	

※令和4年度以降入学生用

	[教材] 安心について	b[読]:「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c:スヌーピーの例をもとに、積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。		ノート	
三 学 期	ものの見方	a:四字熟語について、代表的なものをいくつか上げ、実用的な知識を取得している。 b[書]:「書くこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要約をまとめることができる。 c:粘り強く筆者の意見を理解し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 弱肉強食は自然の摂理か				
	働くよろこび	a:本文に登場する体験談について、的確に理解し、内容を把握している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:「働く」という自分たちにとって避けられない課題について、教材を学んでどのように感じたか、自らの意見を積極的に発信している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 楽に働くこと、楽しく働くこと				
働くよろこび	a:「仕事」「稼ぎ」といった同義語などの、ニュアンスの違いについて理解している。 b[話]:「話すこと」において、相手の理解が得られるように表現を工夫し、自らの仕事観を語っている。 c:相手に伝わるスピーチのしかたについて粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に話したり聞いたりしようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動観察	
[教材] 情景のなかの労働					

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (1 5) 時間
- ・書くこと … (2 5) 時間
- ・読むこと … (4 0) 時間

学校番号	2002
------	------

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	新編 古典探究（東京書籍）						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・〈記して覚える〉古典文法クリアノート ・古文単語 301 						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に引き続き、古典の基本的な文法事項の習得と読解に取り組んでもらいます。 ・単語帳『古文単語301』を各自で覚えて、古典の語彙を増やしていきましょう。また、引き続き文章の内容理解や、表現力を問うパフォーマンス課題を実施します。積極的に取り組んでください。 ・漢文に関しては訓読のルールを忘れないように復習しておきましょう。
--

2 学習の到達目標

<p>社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。加えて、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにするとともに、伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	<p>説話に親しむ</p> <p>-----</p> <p>[教材] 『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」</p>	<p>a: 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしていることに加え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。</p> <p>c: 古典特有の表現に注意して内容を味わい、説話を正確に読み取ろうとしている。</p>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	<p>随筆を読む</p> <p>-----</p> <p>[教材] 『方丈記』 「ゆく河の流れ」</p>	<p>a: 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしていることに加え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。</p> <p>c: 古典特有の表現に注意して内容を味わい、作品の成立した背景と踏まえながら内容の解釈を深めようとしている。</p>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	<p>日記を読む</p> <p>-----</p> <p>[教材] 『土佐日記』 「馬のはなむけ」</p>	<p>a: 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。また、作品の文章の種類とその特徴についての理解を深めようとしている。</p> <p>b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えようとしていることに加え、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。</p> <p>c: 古典特有の表現に注意して内容を味わい、作品の成立した背景と踏まえながら内容の解釈を深めようとしている。</p>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	<p>作り物語を読む</p> <p>-----</p> <p>[教材] 『竹取物語』 「天の羽衣」</p>	<p>a: 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>b[読]: 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</p> <p>c: 平安時代の文化や伝統に対する関心を深めようとしている。</p>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察

※令和4年度以降入学生用

二 学 期	日記を読む		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『更級日記』 「門出」	<p>a: 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を読書の意義と効用について理解を深めようとしている。</p> <p>b[読]: 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</p> <p>c: 古典特有の表現に注意して内容を味わい、登場人物の心情を理解しようとしている。</p>			
	故事と成語		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 「蛇足」 「断腸」	<p>a: 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めようとしている。</p> <p>b[読]: 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</p> <p>c: 漢文の読み方やきまりを確認し、故事成語の内容を正確に読み取ろうとしている。</p>			
	軍記物語を味わう		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『平家物語』 「壇ノ浦の合戦」	<p>a: 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めようとしている。</p> <p>b[読]: 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</p> <p>c: 作り物語の内容を正確に読み取り、登場人物の心情を捉えようとしている。</p>			

※令和4年度以降入学生用

三 学 期	史記を読む		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	[教材] 『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」	a: :先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を読書の意義と効用について理解を深めようとしている。 b[読]:「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈深め、作品の価値について考察している。 c: 作品の内容を読み取り、登場人物の心情、行動、出来事を正確に捉えようとしている。			

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (0) 時間
- ・書くこと … (10) 時間
- ・読むこと … (50) 時間

学校番号	2002
------	------

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	標準 文学国語 (第一学習社)						
副教材等	・プロGRESS現代文 総演習 標準編						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・近現代の小説を中心に授業を進めていきます。1年次で取り扱った作品よりも抽象的かつ高度な内容を取り扱います。日頃から読書等に親しみ、読解に必要な漢字能力と語彙力を高めてください。 ・内容理解や、表現力を問うパフォーマンス課題を実施します。積極的に取り組んでください。
--

2 学習の到達目標

<p>社会生活にわたる必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。加えて、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めようとしている。	「書くこと」の領域において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 「読むこと」の領域において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	現代の小説(一) ----- [教材] 『調律師のみ子さん』	a: 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解を深めようとしている。 b[読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。 c: 登場人物の心情が変化していく過程を正確に読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	随想 ----- [教材] 『真珠の耳飾りの少女』	a: : 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解を深めようとしている。 b[書]: 「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫しようとしている。 [読]: 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。 c: 絵画を紹介する文章を読み、読み手の関心をひきつけるための工夫について考えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	現代の小説(二) ----- [教材] 『相棒』	a: 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴について理解を深めようとしている。 b[読]: 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 c: 時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名に込められた意味を考えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	近代の小説(一) ----- [教材] 『鼻』	a: 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めようとしている。 b[書]: 「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫しようとしている。 [読]: 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 c: 主人公と、それを取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察

※令和4年度以降入学生用

二 学 期	現代の小説(二)	a: 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中に使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにすること。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 c: 登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深淺について考えようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	随想	a: 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めようとしている。 b[書]:「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫しようとしている。 [読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 c: 日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているかを理解しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	現代の小説(三)	a: 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解しようとしている。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えようとしている。 c: 短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される主人公の変化を読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	現代の詩	a: 言葉には、想像や心情を豊かにする働きあることを理解しようとしている。 b[読]:「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。 c: 詩中の表現が示しているものを理解し、「僕」と「恋人」が置かれている状況を読み取ろうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察

※令和4年度以降入学生用

三 学 期	近代の小説(二)		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『清兵衛』	<p>a: 文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めようとしている。</p> <p>b[書]: 「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしようとしている。</p> <p>[読]: 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p> <p>c: 清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深めようとしている。</p>			
	現代の小説(四)		定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート ノート	ノート 行動観察
	〔教材〕 『ひよこの眼』	<p>a: 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めようとしている。</p> <p>b[読]: 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。</p> <p>c: 作品中の表現に注意しながら、「私」が幹生の目が見つめていたものに気づくまでの心情の変化を把握しようとしている。</p>			

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (0) 時間
- ・書くこと … (15) 時間
- ・読むこと … (50) 時間

学校番号	2002
------	------

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	国語表現（大修館書店）						
副教材等	テスト式国語常識の総演習（京都書房） 国語表現 基礎練習ノート（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語表現の授業は座学ではなく、平常点重視の実技科目だと考えよう。ここでは、書く力や話す力が身に付く。実技科目に近いので、欠席しないことも重要だ。毎回の授業で与えられた課題にしっかり取り組もう。
また、副教材の「国語常識の総演習」を毎回の宿題とするので、忘れないようにすること。一年間やりきった後に身につく漢字や知識は社会に出てから役に立つのだ。

2 学習の到達目標

- ・漢字、語彙、国語常識など、基礎学力を養う。
- ・正しい表現を使って文章を作成できるようになる。
- ・人に説明し、自らの考えを伝える力を養う。
- ・映像コンテンツなどから、多様な生き方、考え方を学ぶ。
- ・短歌や新聞づくりなど、作品を仕上げる上でレイアウトや構図を工夫する力を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	漢字の読み書きや慣用句の意味を身に付けている。	小論文、新聞作成、スピーチといった單元ごとに必要な国語の力を身につけ、実生活に活かせる工夫までできている。	積極的に授業を受け、予習や復習を怠らず、発表やグループワークに積極的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和4年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	<p>価値観について</p> <p>・さまざまな価値観を知り、(価値観プリント記入、集計、将来像) 将来の自分について考える。</p> <p>・先輩たちの生き方(DVD、インタビュー)から学ぶ。</p> <p>・ことばの持つ力(DVD「ことばの力」)について考え、書く。</p>	<p>a:副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。</p> <p>b:[話/聞]授業の中で考えたことを話し合うことができる。話し合ったことを発表し、聞くことができる。生き方や、ことばの力についての自分の経験や考えを述べる。</p> <p>c:インタビューや発表などを積極的に行う。</p>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	ノート 行動観察
	<p>小論文・自己PR文</p> <p>・自分の意見と根拠をまとめる</p> <p>・時事問題などについて賛成・反対などの立場を示す</p> <p>・ワークを使い文のねじれなど訂正していく</p> <p>・600字程度で、自分の長所・短所などを紹介する文を書く</p>	<p>a:副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。</p> <p>b:[書] 自分の意見とその反論について知り、まとめ記述できている。</p> <p>c:現代社会の諸問題について調べ自分なりに考えようとしている。</p>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	ノート 行動観察
二学期	<p>説明シリーズ</p> <p>・図や地図から説明する文章を作る</p> <p>・道案内、物の形を伝える、料理の手順などの題材で説明する力を身につける。</p>	<p>a:副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。</p> <p>b:[書]グループワークで互いに説明をして、わかりやすい文章か確認する。自分が作成した説明文で伝わるか考え、文章を書く。</p> <p>c:伝わりやすい説明になるために創意工夫を凝らそうとしている。</p>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	ノート 行動観察
	<p>3分間スピーチシリーズ</p> <p>・自分の趣味や特技、または将来の夢など、題材を自由とし、クラスの前で発表する。</p>	<p>a:副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。</p> <p>b:[話/聞]内容、暗唱、声の大きさなどを総合して説得力をもった演説になっているか。ジェスチャーや具体例などで工夫を凝らしているか。</p> <p>c:スピーチの手法について積極的に学び、意欲的に発表に取り組もうとしている。</p>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	ノート 行動観察
三学期	<p>思い出新聞シリーズ</p> <p>・高校生活を振り返って、趣味や部活動や将来の夢などを新聞にして紹介する。</p> <p>・見出しやレイアウトなど、実際の新聞を参考にして、わかりやすい文を書く。</p>	<p>a:副教材を中心に真面目に取り組み、語彙力を高めている。</p> <p>b[書]:レイアウトや構成に工夫が見られる。限られたスペースで自分のことを端的にわかりやすく説明する。</p> <p>c:新聞に関する構成や約束事を意欲的に吸収している。</p>	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 行動観察	ノート 行動観察

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[b]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

- ・話すこと／聞くこと … (20) 時間
- ・書くこと … (45) 時間

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	精選現代文B (数研出版)						
副教材等	意味から学ぶ頻出漢字3000 (第一学習社) 国語図説 五訂版 (京都書房) 基礎編新常用漢字必携 パーフェクトクリア (尚文出版) ニューエイジ現代文 達成2+ (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・3年生では2年次よりもさらに抽象度の高い文章を読むので、語彙力や漢字の知識の定着を図りましょう。
- ・「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
- ・宿題 (漢字書き取り・意味調べプリント) は授業のベースとなる知識ですので、必ずきちんと取り組みましょう。受験に現代文が必要な人は、問題集にも積極的に取り組みましょう。
- ・評価は定期テストや提出物だけでなく、授業中に書いた文章や発表の様子など総括的に行います。

2 学習の到達目標

- ・様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
- ・語句の意味を的確にとらえて、文章の内容を文脈に沿って理解したうえで自分の意見を持ち、文章の主旨などを自分の言葉で適切に説明できるようにする。
- ・文章の内容に疑問を抱くことで、自らの思考力・判断力を伸ばす。

3 学習評価 (評価の観点の趣旨)

a 関心・意欲・態度

授業に積極的に取り組み、現代文について自ら学ぶ意欲がある。

評価方法

- ・行動の観察 (授業中の態度や発言等)
- ・小テスト

b 話す・聞く能力

目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。

評価方法

- ・行動の観察 (授業中の態度や発言等)
- ・提出物の点検 (ノート、ワークプリントなど)

c 書く能力

必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。

評価方法

- ・提出物の点検
- ・定期考査

d 読む能力

近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。

評価方法

- ・提出物の点検 (ノート、ワークプリントなど)

e 知識・理解

- ・漢検3～2級程度の漢字を読み書きできる。
- ・現代文を理解するために必要な語句の知識や、文学史の知識などを把握して、身につけることができている。

評価方法

- ・小テスト
- ・定期考査

★上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A...達成した B...概ね達成した C...課題を残した D...多くの課題を残した

学期	単元 (学習 項目)	学習 内容	自 己 評 価	主な評価の観点					単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d	e		
1 学期 中間	評論	科学的「発見」とは		<input type="radio"/>	a, d: 「見ること」だけでなく、意図を持って「解釈すること」について考えることができる。 b, c: 筆者の意見を的確に読み取り、それを踏まえて自分の考えを述べることができる。 e: 文中の語句を正しく理解している。	a, b : 行動の観察 c, d, e : 提出物の点 検 定期考査				
	評論	消費されるスポーツ		<input type="radio"/>	a, d: 「スポーツ」と「メディア」を通じて、社会の活動全体を捉えることができる。 b, c: 筆者の意見を的確に読み取り、それを踏まえて自分の考えを述べることができる。 e: 文中の語句を正しく理解している。	a, b : 行動の観察 c, d, e : 提出物の点 検 定期考査				
1 学期 期末	小説	蠅		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	a, d: 登場人物を通じて、人間の「生」について考えることができる。 b: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み取り、自分の考えを述べることができる。 e: 文中の語句を正しく理解している。	a, b : 行動の観察 d, e : 提出物の点 検 定期考査
1 学期 期末	評論	人間の運命と科学		<input type="radio"/>	a, d: 短期的な利益を実現する「科学」が、長期的に人間と存続していく方法を考えることができる。 b, c: 筆者の意見を的確に読み取り、それを踏まえて自分の考えを述べることができる。 e: 文中の語句を正しく理解している。	a, b : 行動の観察 c, d, e : 提出物の点 検 定期考査				

学期	単元 (学習 項目)	学習 内容	自 己 評 価	主な評価の観点					単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d	e		
2 学期 中間	小説	こころ		○	○		○	○	a, d: 登場人物を通じて、人間の「エゴイズム」を深く考えることができる。 b: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み取り、自分の考えを述べることができる。 e: 文中の語句を正しく理解している。	a, b : 行動の観察 d, e : 提出物の点 検 定期考査
2 学期 期末	評論	文学の未来		○	○	○	○	○	a, d: 他者との絆を可能にする文学について、深めて考えることができる。 b, c: 筆者の意見を的確に読み取り、それを踏まえて自分の考えを述べることができる。 e: 文中の語句を正しく理解している。	a, b : 行動の観察 c, d, e : 提出物の点 検 定期考査
2 学期 期末	小説	檸檬		○	○		○	○	a, d: 瞬間ごとに変わる人間の心情の不思議さを、登場人物の心情から読み取ることができる。 b: 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み取り、自分の考えを述べることができる。 e: 文中の語句を正しく理解している。	a, b : 行動の観察 d, e : 提出物の点 検 定期考査
3 学期 期末	随想	言葉を生きる		○	○	○	○	○	a, d: 本文を通じて、「言葉」が持つ力について、深く考えることができる。 b, c: 筆者の意見を的確に読み取り、それを踏まえて自分の考えを述べることができる。 e: 文中の語句を正しく理解している。	a, b : 行動の観察 c, d, e : 提出物の点 検 定期考査

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	新編古典B（東京書籍）						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・古文単語301（尚文出版） ・高校生の古典文法 七訂版（京都書房） ・国語図説 五訂版（京都書房） 						

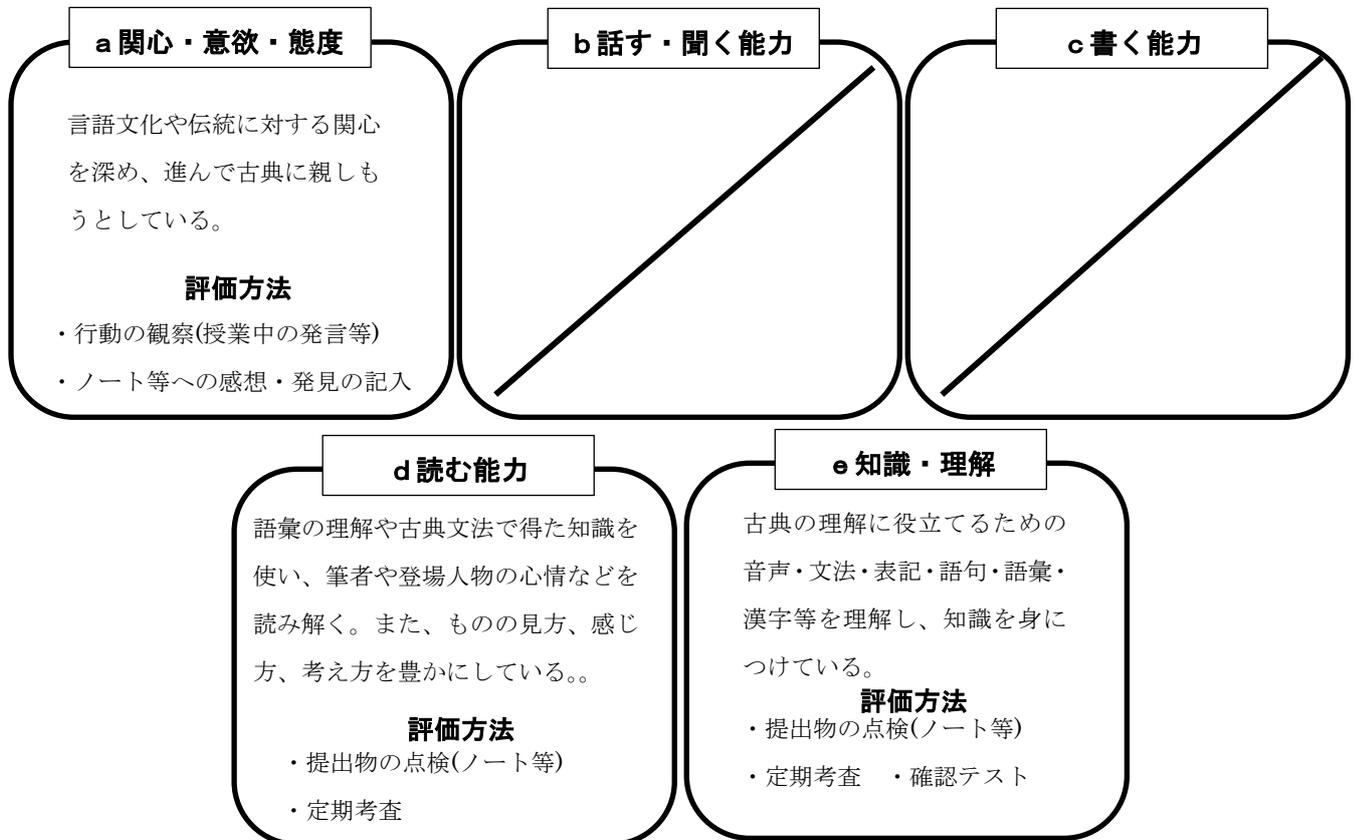
1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・3年次ではさらに進んだ文法事項と読解に取り組んでもらいます。単語帳『古文単語301』を各自で覚えて、古典の語彙を増やしていきましょう。分からないまま放置しないこと。
- ・また、引き続き文章の内容理解を行うために、自分の意見を自由に発言する機会や他者と相互評価する機会があるので、積極的に参加して下さい。

2 学習の到達目標

- ・優れた古典の文章に触れることで、我が国の伝統と文化に対する理解を深める。
- ・古典特有の語句や文法の使い方を学び、自らの力で古典文学を読み解く力を養う。
- ・物語を通してものの見方、感じ方、考え方を広げることで柔軟な思考力・想像力を身につける。

3 学習評価（評価の観点の趣旨）



★上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習プログラム（年間学習指導計画）

★学習が終わったところで自己評価しよう！

A...達成した B...概ね達成した C...課題を残した D...多くの課題を残した

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己 評価	主な評価の観点					単元の評価基準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d	e		
1 学期 中間	物語	伊勢物語 「初冠」		○			○	○	a 古人のものの見方や考え方に 触れ、人間の生き方について 考えている。 d 登場人物の男が女に対してど のような行動を取ったかの内 容を把握している。 e 重要語や基本語について理解 している。	a : 行動の観察(授業 中の発言等) d・e : 定期考査
	日記	更級日記 「門出」		○			○	○	a 古人のものの見方や考え方を とらえ、当時の時代背景を理 解しようとしている。 d 作者がどのような思いで旅立 ったのかの内容を把握してい る。 e 重要語や基本語について理解 している。	a : 行動の観察(授業 中の発言等) d・e : 定期考査
	文法	動詞 形容詞 形容動詞 助動詞						○	e 用言の活用を復習している。	e : 小テストまたは 定期考査
1 学期 期末	日記	更級日記 「物語」		○			○	○	a 平安時代の文化や作者につい ての関心を深めている。 d 主人公の心情について正しく 理解している。 e 文法・語句・作者と『源氏物 語』の関係性についての理解 を深めている。	a : 行動の観察 提出物の点検 d・e : 定期考査

	物語	源氏物語 「光源氏の誕生」		○			○	○	a 『源氏物語』と紫式部について関心をもち、理解を深めようとしている。 d 敬語の使い方から人物関係を正しく読み取っている。 e 物語の文学史についての理解を深めている。	a : 行動の観察 d, e : 提出物の点検 定期考査
	文法	動詞 形容詞 形容動詞 助動詞						○	e 活用の復習と接続の違いを理解している。	e : 提出物の点検 定期考査
2 学期 中間	物語	源氏物語 「若紫」		○			○	○	a 『源氏物語』と紫式部について関心をもち、理解を深めようとしている。 d 敬語の使い方から人物関係を正しく読み取っている。 d 光源氏が垣間見をする場面の状況を読み取っている。 e 『源氏物語』について、その構成や内容の概略、文学史的な位置づけについて理解している。	a : 行動の観察 d, e : 提出物の点検 定期考査
	文法	敬語						○	e 敬意の方向を理解することができている。	e : 提出物の点検 定期考査
2 学期 期末	物語	宇治拾遺物語 「小野篁、広 オのこと」		○			○	○	a 古人のものの見方や考え方に触れ、人間の生き方について考えている。 d 登場人物がどのような考えから、どのような行動を取ったかの内容を把握している。 e 重要語や基本語について理解している。	a : 行動の観察 d, e : 提出物の点検 定期考査
	随筆	枕草子 「ありがた きもの」 「中納言参 り給ひて」		○			○	○	a 古人のものの見方や考え方に触れ、人間の生き方について考えている。 d 登場人物の心情について正しく理解している。 e 重要語や基本語について理解している。	a : 行動の観察 d, e : 提出物の点検 定期考査

	文法	動詞 形容詞 形容動詞 助動詞						○	e 活用の復習と接続の違いを理解している。	e : 提出物の点検 定期考査
3 学期	小説	世間胸算用 「蝸売りの 八助」		○			○	○	a 古人のものの見方や考え方に 触れ、人間の生き方について 考えている。 d 作者の考え方や、登場人物が どのような考えから、どのよう な行動を取ったかの内容を把握 している。 e 重要語や基本語について理解 している。	a, d, e : 行動の観察 提出物の点検 定期考査
	文法	動詞 形容詞 形容動詞 助動詞						○	e 活用の復習と接続の違いを理解している。	e : 提出物の点検 定期考査

令和5年度 国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	国語表現（大修館書店）						
副教材等	テスト式国語常識の総演習（京都書房） 国語表現 基礎練習ノート（大修館書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語表現の授業は座学ではなく、平常点重視の実技科目だと考えよう。ここでは、書く力や話す力が身に付く。実技科目に近いので、欠席しないことも重要だ。毎回の授業で与えられた課題にしっかり取り組もう。
また、副教材の「国語常識の総演習」を毎回の宿題とするので、忘れないようにすること。一年間やりきった後に身につく漢字や知識は社会に出てから役に立つ力だ。

2 学習の到達目標

- ・漢字、語彙、国語常識など、基礎学力を養う。
- ・正しい表現を使って文章を作成できるようになる。
- ・人に説明し、自らの考えを伝える力を養う。
- ・映像コンテンツなどから、多様な生き方、考え方を学ぶ。
- ・短歌や新聞づくりなど、作品を仕上げる上でレイアウトや構図を工夫する力を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	宿題を提出し、学習し、身に着けたか。授業に積極的に参加し、表現活動を行えたか。	スピーチや新聞作成で工夫を凝らして課題に取り組めたか。	ことばを使って様々な表現活動を行う。意見文・小論文・韻文・鑑賞文・物語などをかけたか。	国語の常識や語彙に関する知識を増やし、意味や使用方法を理解することができたか。
評 価 方 法	行動の観察（授業中の態度や発言等）・小テスト・提出物（ノート・小論文・ワークプリントなど）	発表・作品提出・グループワークの取り組み方など。	提出物の添削（ノート・小論文・ワークプリント・作品など）	・国語常識の総演習 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	価値観について	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな価値観を知り、(価値観プリント記入、集計、将来像)将来の自分について考える。 ・先輩たちの生き方(DVD、インタビュー)から学ぶ。 ・ことばの持つ力(DVD「ことばの力」)について考え、書く。 	○	○	○	○	a:授業の中で考えたことを話し合うことができる。人生の先輩へのインタビューを行う。 b:話し合ったことを発表し、聞くことができる。 c:生き方や、ことばの力についての自分の経験や考えを書くことができる。 d:宿題などを提出している。	行動の観察・提出チェックなど
1学期期末	小論文・自己PR文	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見と根拠をまとめる ・時事問題などについて賛成・反対などの立場を示す ・ワークを使い文のねじれなど訂正していく ・600字程度で、自分の長所・短所などを紹介する文を書く 	○		○	○	a:現代社会の諸問題について調べ自分なりに考えようとしている。 c:自分の意見とその反論について知り、まとめ記述できている。 d:宿題などを提出している。	作文添削・行動の観察など
2学期中間	説明シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・図や地図から説明する文章を作る ・道案内、物の形を伝える、料理の手順などの題材で説明する力を身につける。 	○	○		○	a:積極的に説明の順序など、基本的な説明の技術を身につけようとしている。 b:互いに説明をして、わかりやすい文章か確認する。 d:宿題の提出	説明文の添削・ペアワークなど
2学期期末	3分間スピーチシリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の趣味や特技、または将来の夢など、題材を自由とし、クラスの前で発表する。 	○	○	○	○	a:スピーチの手法について積極的に学び、意欲的に練習に取り組んでいる。 b:授業のクラスでスピーチをして、内容、暗唱、声の大きさなどを総合して説得力をもった演説になっている。 c:観客をひきつける工夫(ジェスチャー・道具の使用など)がされている。 d:宿題の提出	スピーチ発表・相互評価

